

短期大学認証評価機関の取組みと今後

2005年7月20日(水)

時間	講義項目
13:00 ~ 14:00	<p>〔大学基準協会〕評価基準・体制と今後の取組み (財)大学基準協会 工藤 潤</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学基準協会が短期大学の認証評価に取り組む背景 2. 大学基準協会が実施する短期大学の認証評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) 認証評価の目的 (2) 認証評価の特色 (3) 実施体制・実施プロセス 3. 評価基準・評価項目の整備の方向 4. 認証評価における今後の課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学の質の維持・向上を図るためのメカニズムの構築 (2) 評価者のトレーニング (3) その他 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
14:10 ~ 15:10	<p>〔大学評価・学位授与機構〕評価基準と実施体制 (独)大学評価・学位授与機構 川口 昭彦</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 評価の目的～教育研究の「質向上」と「個性伸張」/社会的責任説明 2. 評価の基本的方針 <ol style="list-style-type: none"> (1) 短期大学評価基準について (2) 自己評価実施要項について (3) 訪問調査実施要項について 3. 大学情報データベースによる評価支援 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
15:20 ~ 17:00	<p>〔短期大学基準協会〕理念・コンセプトと実施プログラム (財)短期大学基準協会 坂田 正二</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに いま、われわれは官僚統制的な事前規制から自由競争原理に立脚しながらも教育の質の保証をする認証評価に移行するという大転換期に直面している。 2. これに対処するためには、アメリカの accreditation(適格認定制度)を正しく理解することが必要である。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自己点検・評価(=Self-study)とは何か (2) 相互評価あるいは同僚評価(=Peer-review)とは何か (3) 訪問調査(=Site-visit)とは何か (4) その上で行う第三者評価(=Judgment of accrediting commission)とは何か (5) 継続的实施(=On-going monitoring)とは何か しかし、1991(平成3)年の「自己点検・評価」の導入は、アクレディテーションの部分的導入であり、全体像を見誤り、不幸なスタートとなった。 3. (財)短期大学基準協会の認証評価システムの特色と優位性 <ol style="list-style-type: none"> (1) 特色：アメリカにおいて100年かかって練り上げられた適格認定制度を正しく理解し、教育改革の総仕上げをしようとしていることである。 (2) 優位性：「自らに誠実な自己点検・評価」を基礎とし、その上に「短大教育を職業としているもの同士が教育の質を評価し合う」という新しい教育システムを積み重ね、それぞれの教育現場の中でそれぞれの教育理念を「対話」の精神で十分に体得して「第三者評価」を行うというシステムは、他の認証評価機関に例をみない教育文化であると確信している。 4. よくある質問 <ol style="list-style-type: none"> (1) 今から行う自己点検・評価とこれまでやってきた自己点検・評価は違うのか (2) 同僚評価はなれ合い評価にならないか (3) 訪問調査に接待は必要か (4) 守秘義務はあるのか (5) ランキング評価にならないか (6) 拙速ではないか (7) 財務は何を見るのか 等々 <p style="text-align: right;">質疑応答</p>